

# Recruit Guide

介護福祉士募集ガイド

 早良病院

〒819-0002 福岡市西区姪の浜2丁目2番50号

〈お問い合わせ時間〉  
平日／8：30～17：00  
土曜／8：30～12：30

〈担当窓口〉  
総務課／TEL 092-882-0143

<http://www.sawara-hp.jp>

# 患者さんの気持ちに寄り添って 笑顔あふれる介護を行います。



## 私たちの仕事=志事

私たちが所属する2階病棟は、患者さんの日常生活動作能力の維持・向上を目指しリハビリテーションを集中的に行っている病棟です。入院されている患者さんは在宅、施設、社会復帰を目指し日々励まれています。

医師、看護師、リハビリスタッフなど多職種と協働し患者さんが安心して過ごせる環境づくりをチームで取り組んでいます。具体的には、食事、入浴、排泄介助、病棟訓練、受け持ち患者担当。入院生活を送られている患者さんは変化の少ない日常となる

為、少しでも楽しく、気分転換できるようレクリエーションなども実施しています。

介護福祉士は介護を必要とする人々が、人生に自信と誇りがもてるように、自立を助ける

専門職です。誰かの助けを必要とされるその時に、寄り添いあたたかく見守り、必要な手助けをすることで、患者さんもゆとりを取り戻し、生活課題に挑戦することが出来るのだと思います。患者さんとの関わりの中で、時にうまくいかず思い悩むことも多々ありますが、その過程も介護士として、人としても成長に繋がるのだと思っています。

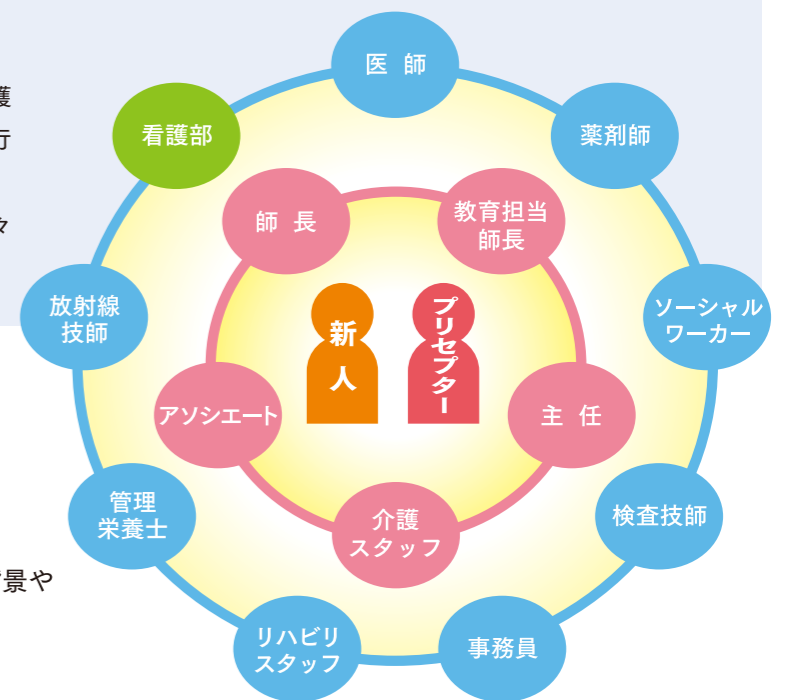
近年は認知症患者さんも増え、専門職としてより力を発揮できる現場でもあります。一番身近で患者さんと関わり、心に触れ、感動しあえる職種として寄り添っていきます。



## プリセプターシップ

### プリセプターシップとは

新人介護職員1人に対して、決められた経験のある先輩介護職員(プリセプター)がマンツーマン(同じ勤務を一緒に行う)で、ある一定期間新人指導を担当する方法です。当院では、新人介護職員自らが主体的に学習するよう、個々のペースに合わせてプリセプターが関わります。



### 介護チーム 方針

### 『私たちの目指す介護』

#### ①私たちは寄り添います

患者さんや、そのご家族がこの病院を選んだ背景や目的を把握、理解し、その目的の達成とともに笑顔で喜べるケアを提供します。

#### ②私たちは尊重します

患者さんが求めているケアは何か、患者さんがおかれている状況に応じて、患者さんの自尊心に配慮した最善のケアを提供します。

#### ③私たちは協力します

患者さんを中心としたチーム医療の一員として、円滑な連携を図るために必要な情報を共有、提案できるよう自己研鑽し最善のケアを提供します。

## eラーニング活躍中!

### 看護を支える看護技術教育支援ツール 『ナースィング・スキル』『SafetyPlus』を導入。

平成29年度よりeラーニングのツールである「ナースィング・スキル」「SafetyPlus」を導入しています。ナースィング・スキルでは、動画で実践イメージを掴み、手順の根拠と共に看護技術を学習できます。またレベルに合わせてコミュニケーションや、キャリア開発、専門領域スキルアップ等の内容で動画講義を受講できます。

SafetyPlusでは、医療事故を動画で疑似体験し、未然に防ぐための方法を学ぶことができます。看護部、リハビリテーション部等全職員がこれらのツールを使用することができ、時間と場所を選ばず自己のスキルアップが可能です。また、各病棟に専用のタブレット端末も導入しており、視聴環境も整えております。



# 介護を通して「思い」を引き出す 求められるのはShake Hands(握手)



## 介護福祉士の役割

介護福祉士は、チーム医療・ケアの中核を担い、患者さんが豊かな生活を送れるように、日常生活の支援を実践しています。患者さんの自立支援、多職種との情報共有など、様々な場面で活躍しています。



患者さんと心のかよう対応



多職種とのミーティング



オムツ交換の練習



気持ちよく入浴してもらうための準備



明るく開放感のあるスタッフステーション

## Feature 1 地域に根差した リハビリテーションセンター



当院には、疾患により生じた移動・身の回りの動作・コミュニケーションなど様々な障害が生じた結果、リハビリテーションが必要となった患者さんが来院されます。リハビリテーション部は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種、約50名のスタッフで構成され、患者さんの失われた機能の回復を促し、残存能力を最大限に伸ばすための治療・訓練を行っています。患者さんが住み慣れた地域で、その人らしい生活へもどることができるよう、看護部もリハビリスタッフと密に情報共有しながら訓練室でのリハビリから病棟での生活動作の自立度アップへの支援を行っています。

## Feature 2 病棟で協力し合う レクリエーション活動



2階病棟と3階病棟では患者さんに対してリハビリスタッフと介護福祉士、看護師が協力し合ってレクリエーション活動を行っています。認知症ケアの一環でもあり、また訓練以外の時間にもベッドから離れる機会を持つことで日常の生活に近づいてもらえるよう取り組んでいます。さらに患者さんとスタッフとのコミュニケーションの場ともなっています。

## ヘルプマン&ナースマン活躍中!

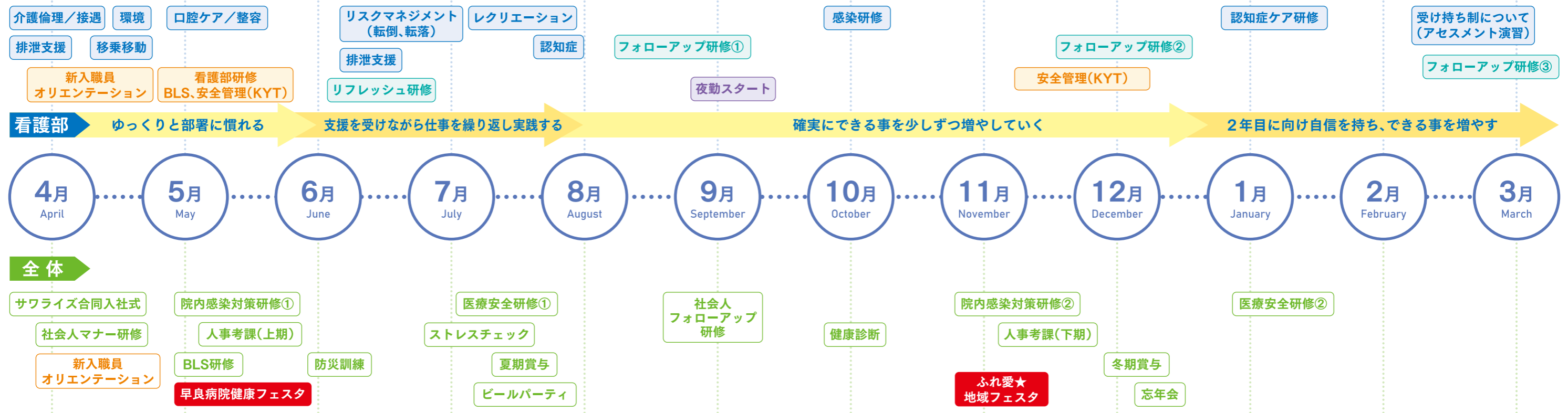
当院の男性看護師は5名、男性介護福祉士は2名。年齢差や経験に関係なく、お互いに相談しやすい関係が築けており、和気あいあいと働いています。男性だからこそ気付ける視点があることやチーム医療をより円滑にするための潤滑剤としてプラスの力を発揮しています!



# 03

## 充実した研修とサポート体制で あなたの成長を支えます。

### 新人介護福祉士の年間の主なスケジュール



### 新人介護福祉士の1日



# 安心して働き続けて欲しいから 福利厚生にも力を入れています。



## 独身寮・社宅

平成29年4月に新社寮が完成しました。室内は1K 36.31㎡(12.5畳)と広く、設備も充実しています。  
立地は姫浜駅から徒歩15分圏内と天神へのアクセスも良く、格安で利用できる  
ところが魅力です。  
寮はこの他にも2棟あり、寮とは別にファミリー用の社宅もあります。

- ◎初期費用0円
- ◎独身寮家賃…月々 17,400円～入居可能  
独身寮駐車場代…月々 1,200円～利用可能  
(入居5年目以降価格の変動あり)
- ◎寮(社宅)周辺に大型ショッピングモール等  
様々な施設あり

## 院内サークル活動

※平成29年度実績

### ヨガサークル

月に1～2回の頻度で、業務終了後18時から院内でヨガを行っています。  
日頃運動をしない方、体が硬い方、リラック  
スしたい方などにオススメです♪

### 手話サークル

外部講師を招いて、2ヶ月に1度の頻度で業  
務終了後に手話を学んでいます。手話での  
挨拶や自己紹介など職員間で実践をし、交  
流を深めています。

### アクティ部

定期的に季節に応じたスポーツを行って  
おります。ボルダリング、ポーリング、BBQ、ス  
ノーボードなどを予定しており、部署の垣根  
を越えて交流しています。

## 早良病院利用時の還付金制度

当院の看護職員とその家族(配偶者・子供・両親・同居している兄弟)が早良病院を利用する場合、診療にかかる一部の負担金が還付されます。還付金の内容は右記のとおりとなっており、本人だけでなく家族についても還付が受けられるという点が魅力です。

対象者	外来診療費	入院治療費	有料個室料	介護保険の 利用者負担分	食費・予防接種・ 健康診断・文書料等
従業員本人	半額	半額	全額	—	対象外
従業員家族	1/3	半額	半額	1/3	対象外

※有料個室料の1日の上限:本人6,000円 家族3,000円

## グループ企業優待制度

株式会社サワライズの事業として、姫浜ドライビングスクールや小戸ゴルフセンターがあります。早良病院の職員はこれらの施設を利用する場合に入学金や施設利用料などにおいて優遇を受けることができます。姫浜ドライビングスクールは病院から徒歩3分の距離にあり、これから車・バイクの免許取得を目指す方には大変便利でお得です。小戸ゴルフセンターは緑豊かで、全長180ヤードの開放的なスペースと上質な設備を備えておりリフレッシュの時間にお勧めです。



大正3年12月1日設立 株式会社サワライズ 本社



## 待遇について

- 基本給：160,000円
- 職務手当：17,000円
- 夜勤・準夜勤手当  
：夜勤5,000円/回  
準夜2,000円/回
- 住宅手当：7,000円～10,000円(条件あり)
- 通勤手当：上限20,000円(条件あり)
- 昇給：年1回
- 賞与：年2回
- 加入保険：健康保険・厚生年金保険  
雇用保険・労災保険
- 年間休日：113日
- 有給休暇：入職時10日付与
- 退職金：勤続3年以上で支給

## 有休消化率→85.8%

平成28年度より時間単位で有給休暇を使用できるようになりました。小さなお子さんの送迎、ちょっとした用事がある時などにとても便利な制度です♪

## 産休・育休取得率→100%

産休・育休の希望者は必ず取得することができ、復帰後も時短勤務など、育児との両立ができる環境を整えています。

## 平均残業時間→1時間/月

※数値は2019年4月1日現在

## 回復期病棟の 介護福祉士・ 看護助手 平均年齢に ついて

年代	人数(人)	割合(%)
20歳～25歳未満	4	25.0
25歳～30歳未満	1	6.2
30歳～35歳未満	2	12.5
35歳～40歳未満	2	12.5
40歳～50歳未満	3	18.8
50歳以上	4	25.0
合計	16	100.0
回復期病棟介護福祉士平均年齢	36.8歳	
病院全体平均年齢	43.8歳	

※2019年4月1日現在

安心して  
成長できる

# 05

## 職員の成長意欲を支援し、 生き活きと働ける環境づくり。



### 看護部 理念

かけがえのない命と人間性を尊重し、  
あたたかい心で、質の高い看護を提供します。

### 看護部 方針

- ① 患者さんの尊厳が守られるよう専門職としての知識・技術をもって親切・丁寧な看護を実践します。
- ② 安全に対する意識を高くもち事故防止に努めます。
- ③ 看護の質の向上に向け日々研鑽します。
- ④ 地域および医療者間の連携を密にした看護を実践します。

### ごあいさつ

#### 職員の成長意欲を支援し、ライフステージが変わっても 生き活きと働けるような環境づくりを進めています。

看護部では「かけがえのない命と人間性を尊重し、あたたかい心で、質の高い看護を提供します」と理念を掲げています。看護部の職員は看護師、介護福祉士、看護助手の3職種で構成され、それぞれの機能と役割をもって働いています。「介護」を必要とする患者さんは年々増加しています。患者さんの退院を困難にする要因をそれぞれの立場から考え、情報を共有し的確な介入をしていく必要があります。当院では介護福祉士の受け持ち制をとりいれており、医療・看護・介護がお互いの専門性を発揮し、患者さんを取りまくチームの一員として連携・協働すること、患者さんとご家族の目線で考えた支援を行うことなど、在宅復帰支援において最善最適な看護・介護の提供ができることを目指しています。

看護・介護には質の高い知識・技術はもちろんのこと、豊かな想像力と実行力が求められます。認知に障害があったり意識障害があったりして意思を伝えられない患者さんにおいても、相手が今何を思っているのか、何を期待しているのか、ご家族や周囲の方からの情報やわずかな反応から想像することが大切です。あたたかい心と柔軟な発想を持って患者さんとご家族のために頑張る、そんな介護福祉士を育成していきたいと思っています。

早良病院では職員が生き活きと働ける環境づくり、ワーク・ライフ・バランスに配慮し安心して仕事が続けられる環境づくり、職員が個々の能力を発揮し自己成長を支援する環境づくりに力を入れています。

看護部長 石橋 美香

### チームで力を入れて取り組んでいること



#### 退院支援

退院が患者さんにとってのゴールではなく、退院後も退院先での生活があり、入院期間はその生活に向けた準備期間だと思っています。今後は介護職も患者さんの状態に合わせて自宅訪問や多職種でのカンファレンスへの参加なども行っていきます。

#### 口腔ケアでQOL向上

食べることは身体的にも精神的にも生きる喜びにつながります。寝たきりだったり、体に障害や麻痺があったりして、自分で口腔ケアが十分にできない患者さんには、適切な口腔ケアの介助が必要です。

当院では歯科衛生士と協働し、その人にあった口腔ケアの方法を選択したり、口腔ケアの知識、技術の指導を受けたりと、患者さんのQOL向上につながるよう行っています。



### 確かなチームワークと笑顔あふれる職場

#### 患者さんの回復と笑顔を 間近に感じるやりがいのある職場。

介護福祉士 古川 友恵



早良病院回復期病棟の介護士は「ケアワーカー」と呼ばれています。

患者さんの入院生活、リハビリテーションが順調に進むように環境を整え、在宅復帰、社会復帰を目指すための支援を行っています。

入院生活は、患者さんが「よりよい生活を継続するための時間」と私は捉えています。そのためには、「どのようなケアが必要か?」、治療やリハビリに重視した部分と、介護の視点から多職種と一緒に考え、協力して統一したケアを提供しています。また、病院という場所だからこそ、患者さんの回復と笑顔を間近に感じることができるやりがいのある職場です。

#### 職種の垣根を越えて専門知識を学べ、 様々なことを吸収できる素晴らしい環境。

介護福祉士 牧山 大輔



私が回復期リハビリ病棟を選んだ理由として、そこが「生活リハビリの場」だったからです。病棟内で行われている食事、排泄介助などの日常生活動作の全てがリハビリです。当初、回復期病棟で働く介護福祉士のイメージとしては、介護職として提供できるサービス、「介護＝出来ないことを手伝う」というものでした。しかし、ここでは介護福祉士でも出来るリハビリがあることを知り、自分も携わりたいと思いました。実際に患者様の「できること」が増えてくると患者様と共感し一緒に喜び合い、笑顔が見られるとリハビリに携わって良かったと実感できます。

そして、何よりも早良病院の回復期病棟の一番のメリットとして職種の垣根を越えて学べることです。分からないことや、知りたいことは専門職が身近にいて学ぶことが沢山あり、研修や院内勉強会なども開催され様々なことを吸収できる素晴らしい環境です。病院では医療が中心となる職場で介護職がやり甲斐を持って働くことができるのは、早良病院にしかない魅力だと思っています。これからも患者様とご家族の皆様が、ここ早良病院で良かったと言ってもらえるように、より良い職場作りを目指し、元気に笑顔を決やらずスタッフ丸となって尽力していきたいです。